

# 認知症カフェ、ふれあい・いきいきサロン

## なごや認知症カフェとは

認知症のご本人やご家族、地域住民、医療や介護の専門職など、誰もが気軽に集い、仲間作りや情報交換をする地域の拠点です。そして地域住民の方が認知症を正しく理解したり、ご自身の相談ができる場所でもあります。

みずほ行こ行こブックでは一覧表の左側にコーヒーのマークがついています。

開催中のカフェは建物の目印になるよう入り口に旗が出ています。



## ふれあい・いきいきサロンとは

高齢者や障がい者、子育て中の親子などが、身近な場所で気軽に仲間づくりや生きがいづくりを行い、地域でいつまでもいきいきと暮らせることを目指す交流活動・情報交換の場です。

地域の「お茶の間」や「たまり場」として、高齢者をはじめ地域住民の方々が自主的に運営しています。

